

2023年度事業報告

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団

[2023年度事業報告]

(2023年4月1日～2024年3月31日)

1 人材育成事業

「知の交流拠点」機能を発揮し、ライフサイエンスの発展を担う研究人材を育成するため、研究交流を通じた人材育成事業を実施した。

(1) 千里ライフサイエンスセミナー

ライフサイエンスを先導する第一線の研究者が先端的な研究成果・動向等を発表・紹介するトップクラスのセミナーを開催した。

[詳細：別表1、2]

セミナーNo・開催日	テーマ	コーディネーター	講師	参加者
V1 2023年 5月26日(金) ハイブリッド開催	相分離がもたらす医療・創薬の新展開	京都大学大学院生命科学研究科 准教授 吉村 成弘 奈良県立医科大学医学部 准教授 森 英一朗	7名	351名 (26名)
V2 2023年 7月20日(木) ハイブリッド開催	発達障害の病態解明へ： 基礎と臨床をつなぐ研究 最前線	国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) 脳情報通信総合研究所 所長 川人 光男 理化学研究所脳神経科学研究センター チームリーダー 石田 綾	6名	357名 (41名)
V3 2023年 9月12日(火) ハイブリッド開催	第9回 がんシリーズ 理想的ながん免疫療法の 展開 —がん免疫プレシジョン 医療—	国立がん研究センター研究所・名古屋 大学大学院医学系研究科 分野長・教授 西川 博嘉 京都大学大学院医学研究科 教授 上野 英樹	7名	369名 (38名)
V4 2023年 11月21日(火) ハイブリッド開催	組織再構築の制御と破綻 ～健康・未病・疾患～	九州大学大学院医学研究院病態制御内 科学(第三内科) 主幹教授 小川 佳宏 名古屋大学環境医学研究所 教授 菅波 孝祥	7名	299名 (34名)
V5 2024年 1月19日(金) ハイブリッド開催	色々の器官を創る・培う・ 繋ぐ ～Organ Multiverse～	慶應大学医学部医化学教室 教授 佐藤 俊朗 大阪大学大学院医学系研究科 教授 西田 幸二	6名	378名 (54名)
T6 2024年 3月1日(金) ハイブリッド開催	Science of Behaving and Sleeping Brains	筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 機構長、教授 柳沢 正史 副機構長、教授 櫻井 武	6名	309名 (116名)
参加者合計 2,063名/6回				

() うち会場参加者数

(2) 新適塾

ライフサイエンス各分野の先端的な3つのテーマについて、第一線の研究者と若手研究者等が自由闊達に議論できる場を提供し、研究人材の成長を支援した。適塾の向上心、闊達性の再現を目指した事業名称である。

① 未来創薬への誘い

コーディネーター：大阪大学大学院薬学研究科 小比賀 聡
大阪大学大学院薬学研究科 水口 裕之

開催 No・開催日	演題	講師	参加者
第 61 回 2023 年 4 月 24 日(月) Web 開催	新規創薬モダリティとしての mRNA	東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 生体材料機能医学分野 教授 位高 啓史	321 名
第 62 回 2023 年 8 月 21 日(月) ハイブリッド開催	薬物動態を左右する転写後調節の解明と創薬への展開	金沢大学 ナノ生命科学研究所/医薬保健研究域薬学系 教授 中島 美紀	195 名 (39 名)
第 63 回 2023 年 10 月 17 日(火) ハイブリッド開催	骨格筋の再生・適応能力と創薬への応用	大阪大学大学院薬学研究科 再生適応学分野 教授 深田 宗一郎	217 名 (32 名)
第 64 回 2024 年 1 月 10 日(水) ハイブリッド開催	病は腸から! 知られざる腸内細菌・腸管免疫の功罪	慶應義塾大学薬学部 生化学講座 教授 長谷 耕二	271 名 (34 名)
参加者合計 1,004名/4回			

② 脳はおもしろい

コーディネーター：大阪大学名誉教授 山本 亘彦
大阪大学 蛋白質研究所 古川 貴久

開催 No・開催日	演題	講師	参加者
第 41 回 2023 年 6 月 27 日(火) ハイブリッド開催	神経ペプチド探索からはじまる新規生理機能の探求	筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 副機構長/教授 櫻井 武	230 名 (39 名)
第 42 回 2023 年 9 月 7 日(木) ハイブリッド開催	温度を感じるメカニズム	自然科学研究機構 生理学研究所 細胞生理研究部門 教授 富永 真琴	184 名 (25 名)
第 43 回 2023 年 12 月 26 日(火) ハイブリッド開催	言語の系統発生と個体発生のための生物学的小および認知的基盤	慶應義塾大学 環境情報学部 教授 今井 むつみ	195 名 (37 名)
第 44 回 2024 年 3 月 15 日(金) ハイブリッド開催	Online and offline LTP during memory consolidation	京都大学大学院医学研究科 システム神経生理学分野 教授 林 康紀	151 名 (22 名)
参加者合計 760 名/4 回			

③ 難病への挑戦

コーディネーター：大阪大学大学院医学系研究科 山下 俊英
大阪大学 感染症総合教育研究拠点 菊池 章

開催 No・開催日	演題	講師	参加者
第 54 回 2023 年 5 月 19 日(金) ハイブリッド開催	老化細胞を標的としたがん克服への挑戦	公益財団法人がん研究会 がん研究所細胞老化研究部 部長 高橋 暁子	267 名 (42 名)
第 55 回 2023 年 9 月 19 日(火) ハイブリッド開催	難病領域における患者レジストリ活用の動向 ～難病プラットフォームを例に～	聖マリアンナ医科大学 脳神経内科 主任教授 山野 嘉久	158 名 (34 名)
第 56 回 2023 年 11 月 16 日(木) ハイブリッド開催	腫瘍血管の異常性とがんの悪性化	北海道大学大学院 歯学研究院 口腔病態学分野 教授 樋田 京子	158 名 (34 名)
第 57 回 2024 年 2 月 21 日(水) ハイブリッド開催	アルツハイマー病の分子細胞病態解明から創薬研究	東京大学大学院薬学系研究科 機能病態学教室 教授 富田 泰輔	272 名 (37 名)
参加者合計 855 名/4 回			

() うち会場参加者数

(3) AKIRA 塾

成功された研究者を招き、特に成功の裏に隠されている部分を共有いただくことで、若手研究人材の今後の研究のモチベーションにつなげるなど、若手研究者の育成を目的に開催した。

開催 No・開催日	演題	講師	参加者
第 1 回 2023 年 7 月 18 日(火) 会場開催	ブタの肝臓から50年	大阪大学免疫学フロンティア研究センター 免疫・生化学 特任教授 大阪大学 荣誉教授/名誉教授 京都大学 名誉教授 長田 重一	58 名
第 2 回 2024 年 2 月 19 日(木) 会場開催	新世代ADC技術の創製とトラスツズマブ デルクステカンの研究開発	第一三共株式会社 執行役員 研究開発本部 研究統括部長 グローバル研究ヘッド 我妻 利紀	54 名

(4) 「大阪科学賞」の共催

創造的科学技术の振興を図り、21世紀の新たな発展と明日の人類社会に貢献することを目的として、「大阪科学賞」により、将来性が期待される研究人材を顕彰した。

「主催」大阪府・大阪市・(一財)大阪科学技術センター

「共催」公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団

- ① 対象分野 理学、工学、農学、生物学、医学、薬学、情報科学とそれらの学際的分野における科学および新技術の発展に寄与した研究・開発
- ② 対象者 学術上顕著な業績を上げた方、画期的な新技術を開発した方、研究のさらなる発展と研究者としての将来性が期待される方。
1973年1月1日以降に出生された方。(50歳以下)
- ③ 授賞 2件(賞金各150万円、賞状・記念品(メダル)を贈呈)

・第41回(2023年度)「大阪科学賞」表彰式・記念講演
2023年11月11日(土)(於;大阪科学技術センター)

・受賞者

鳶巢 守 (とびす まもる) 氏

【現職】大阪大学 大学院工学研究科 教授

【業績】有機化学反応における新反応原理の開拓

藤野 修 (ふじの おさむ) 氏

【現職】京都大学 大学院理学研究科 教授

【業績】小平消滅定理の一般化と代数幾何学への応用

2 岸本基金研究助成事業

独創性、先行性があり、ライフサイエンスの振興に寄与することが期待できる若手研究者の研究テーマに対し、「岸本基金研究助成事業」として助成した。

(1) 募集・応募概要

助成額	募集件数	募集方法・期間	応募件数
200万円/件	15件程度	申請者の所属機関長等の推薦 2023年6月1日(木)~7月31日(月)	246件

(2) 選考委員会 開催日:2023年11月28日(火)

(3) 選考結果 研究助成15件 助成額3,000万円(200万円×15件)
採択率6.1%

(4) 贈呈式 ・開催日:2024年1月22日(月)

・開催場所:千里ライフサイエンスセンタービル 501号~503号会議室

・受領者は次表のとおり

(敬称略、50音順)

氏名	所属・役職	研究題目
うしまる りいちろう 牛丸 理一郎	東京大学大学院薬学系研究科 助教	ヌクレオシド-アミノ酸複合体生合成経路の解明と合成生物学手法による物質生産への応用

うちだ のりゆき 内田 紀之	東京農工大学 工学部 村岡研究室 特任助教	重篤ガン疾患の治療を志向した膜変形リポソームを利用した血中投与型ウイルス療法の実現
かわかみ こうき 川上 耕季	東京大学大学院総合文化研究科 加藤英明研究室 特別研究員	分子理解から迫る神経ペプチドクロストークの生理的意義解明
きたもと ひろこ 北本 宗子	大阪大学免疫学フロンティア研究センター 免疫微生物学 特任准教授	腸内細菌叢解析から迫る炎症性腸疾患の病態解明
さかまき じゅんいち 坂巻 純一	順天堂大学 医学部生理学第二講座（小松雅明研究室） 准教授	オルガネラ膜脂質のユビキチン化の分子基盤と疾患との関連の理解
しみず たかゆき 清水 隆之	奈良女子大学大学院自然科学系 准教授	超硫黄分子シグナルで開拓する新規レドックス応答機構
そうま しょうご 相馬 祥吾	京都府立医科大学大学院医学研究科 細胞生理学 助教	食欲が制御する味覚情報処理の解明
たけだ ひろのり 竹田 弘法	神戸大学先端バイオ工学研究センター 近藤昭彦研究室 特命准教授	細胞の生命維持活動に重要なミトコンドリア融合の生物学的意義の解明
ちやたに ゆうへい 茶谷 悠平	岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域 分子遺伝学 翻訳ダイナミクス研究室 准教授	非 DNA 型遺伝情報により再定義される「遺伝子」の実像解明
ながお ひろふみ 長尾 博文	大阪大学大学院医学系研究科 代謝血管学寄附講座 特任研究員	間葉系幹細胞由来エクソソームによる代謝恒常性維持と新規アディポネクチン作用機構の解明
なかじま まさや 中島 誠也	東京大学大学院薬学系研究科 基礎有機化学教室 特任准教授	“擬”生体触媒反応によるケミカルスペース拡張
ひらいけ ゆうた 平池 勇雄	東京大学 保健・健康推進本部 助教	褐色脂肪細胞の活性化による生活習慣病の精密医療-鍵因子 NFIA の機能解析から大規模バイオバンクのゲノム解析まで-
まるやま けんた 丸山 健太	愛知医科大学医学部 薬理学講座 教授	大腸癌生物学の新境地開拓
やすはら たかあき 安原 崇哲	京都大学大学院生命科学研究科 ゲノム生物学講座 ゲノム損傷応答学 教授	リボソーム RNA の保護による細胞ストレス応答の原理とメカニズムの解明
やまだ こうじ 山田 幸司	東京慈恵会医科大学 生化学講座 准教授	細胞質タンパク質を分泌する小胞体の新規機能の解明と発がん研究

3 普及啓発事業

一般市民や児童・生徒に、学び、研究者等と交流する機会を提供するとともに、ライフサイエンスに関する知識・情報や、当財団の活動を広く紹介するため各種事業を実施した。

(1) 千里ライフサイエンスフォーラム

一般市民を対象に、幅広く教養の向上と交流を図るため、各分野の第一線で活躍される

方々を講師として、フォーラム（講話）を月例（8月は休会、第359回9月は中止）で実施した（会場開催と録画配信併用）。

開催日	場 所	演題	講 師	視聴者数
355回 2023年 4月18日(火)	千里LCビル 会議室	細胞老化と体の老化	大阪大学 微生物病研究所 教授 原 英二	130名 (31名)
356回 2023年 5月17日(水)	千里LCビル 会議室	メタボ・フレイルとこれからの栄養学	一般財団法人 阪大微生物病 研究会 副理事 阿部 圭一	134名 (27名)
357回 2023年 6月14日(水)	千里LCビル 会議室	人新世の意味をゴリラと考 える	総合地球環境学研究所 所長 山極 壽一	101名 (33名)
358回 2023年 7月12日(水)	千里LCビル 会議室	宇宙開発よもやま話	学校法人大阪滋慶学園 滋慶 医療科学大学 教授 小鐘 幸雄	94名 (28名)
360回 2023年 10月10日(火)	千里LCビル 会議室	数奇(すき)の雑談(ぞうだ ん)	京都府立大学客員教授、茶道 資料館顧問 筒井 紘一	73名 (28名)
361回 2023年 11月6日(月)	千里LCビル 会議室	接木の研究で拓がる植物科 学	京都大学大学院 理学研究科 生物科学専攻(植物生理学) 教授 野田口 理孝	79名 (30名)
362回 2023年 12月13日(水)	千里LCビル 会議室	古代ゲノムが解明する日本 人の起源	独立行政法人 国立科学博物 館 館長 篠田 謙一	131名 (39名)
363回 2024年 1月11日(木)	千里LCビル 会議室	蝶が見る色の世界	総合研究大学院大学 統合進 化科学研究センター 教授 蟻川 謙太郎	93名 (27名)
364回 2024年 2月5日(月)	千里LCビル 会議室	建物の地震対策 ～過去の地 震被害から学ぶ～	東京大学生産技術研究所 教 授 国立研究開発法人 防災科学 技術研究所兵庫耐震工学研 究センター センター長 中埜 良昭	89名 (33名)
365回 2024年 3月14日(木)	千里LCビル 会議室	台湾客家の動物文化と生命 倫理	国立民族学博物館 学術資源 研究開発センター 教授 野林 厚志	71名 (27名)
合計 995名 /10回				

() うち会場参加者数

(2) 市民公開講座

一般市民を対象に、ライフサイエンスに関する身近なテーマ等について公開講座を開催した。

協力：産経新聞社 後援：大阪府

コーディネーター：国立循環器病研究センター 名誉総長 北村 惣一郎
(一財)住友病院 名誉院長・最高顧問 松澤 佑次

(第87回のみ) 大阪大学大学院医学系研究科 脳神経感覚器外科学 (眼科学)

教授 西田 幸二

(第88回のみ) 大阪大学大学院医学系研究科 神経内科学 教授 望月 秀樹

開催日	テーマ/演題	講師	参加者
第 87 回 2023 年 10 月 14 日 (土) ハイブリッド開催	「高齢者の視力と聴力」 ・ 高齢者の眼底の病気 ・ 意外と知らない目が赤くなる病気 ・ 高齢者のきこえと健康	・ 大阪大学大学院医学系研究科 眼免疫再生医学共同研究講座 特任准教授 崎元 晋 ・ 大阪大学大学院医学系研究科 脳神経感覚器外科学 (眼科学) 講師 橋田 徳康 ・ 大阪大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 講師 太田 有美	163 名 (68 名)
第 88 回 2024 年 3 月 23 日(土) ハイブリッド開催	「高齢者の運動障害」 ・ 高齢者の運動障害と病気 ・ 高齢者の筋力の低下や筋肉の病気など ・ 脳卒中後の運動障害とリハビリテーション	・ 近畿大学医学部 脳神経内科 主任教授 近畿大学ライフサイエンス研究所 副所長 永井 義隆 ・ 大阪大学大学院医学系研究科 保健学専攻 生体病態情報科学講座 教授 高橋 正紀 ・ 社会医療法人大道会副理事長 森之宮病院 院長代理 宮井 一郎	138 名 (71 名)
合計 301 名/2 回			

() うち会場参加者数

(3) 小学生、高校生向け事業

科学技術の発展を担う次世代の人材育成も含め、生命や自然科学に対する知的好奇心、向上心を醸成するため、小学生、高校生を対象に事業を計画し実施した。

① 小学生（高学年）向け事業

コーディネーター：大阪大学大学院理学研究科 教授 山口 浩靖

開催日	開催場所	テーマ	講師	参加児童
2023 年 8 月 18 日 (金)	大阪大学豊中キャンパス 理学部講義室	午前の部 手作り分光器で光を分けよう！ 午後の部 「高分子」を水に溶かすと	午前の部 ・ 大阪大学大学院理学研究科 教授 上田 貴洋 午後の部 ・ 大阪大学大学院理学研究科 教授 寺尾 憲	34 名 (保護者 27 名)

② 高校生向け事業「ライフサイエンスセミナー：研究者と語ろう」

コーディネーター：大阪大学免疫学フロンティア研究センター 拠点長・教授 竹田 潔

開催日	開催場所	構成	講師/演題	参加生徒
2023年 8月7日(月)	大阪大学免疫学フロンティア研究センター(IFReC) 谷口記念講堂 阪大微生物研究会 IFReC との共催	午前の部 ・IFReC・微研見学ツアー 午後の部 ・2名の講師による講演会 ・高校生と講師の意見交換会	大阪大学大学院医学系研究科 特任准教授 福嶋 葉子 「失明ゼロを目指す眼の最新研究」 大阪大学大学院理学研究科 宇宙地球科学専攻 教授 長峯 健太郎 「宇宙は広い!」	午前 26名 午後 43名

③ 高校生向け事業「出前授業」

コーディネーター：大阪大学免疫学フロンティア研究センター 拠点長・教授 竹田 潔

<学校法人大阪医科薬科大学 高槻中学校・高等学校>

開催日	演題	講師	参加生徒
2023年 9月20日(水)	ウイルス界への招待:ウイルスと私たち、 ウイルスと地球環境	京都大学化学研究所附属バイオインフォマティクスセンター 教授 緒方 博之	18名
2023年 11月29日(水)	バイオインフォマティクスによるDNA解析で、 環境問題としての薬剤耐性菌に挑む!	京都大学大学院工学研究科 都市環境工学専攻 助教 五味 良太	30名

<学校法人金蘭千里学園 金蘭千里中学校・高等学校>

開催日	演題	講師	参加生徒
2023年 10月23日(月)	食品添加物と腸内細菌	近畿大学生物理工学部 食品安全工学科 准教授 栗原 新	162名

<兵庫県立川西緑台高等学校>

開催日	演題	講師	参加生徒
2024年 1月24日(月)	健康にかかわる腸内細菌	IFReC 拠点長、大阪大学大学院医学系研究科 教授 竹田 潔	544名

(4) 広報誌の発行および財団、財団事業の情報発信

① 広報誌「千里ライフサイエンス振興財団ニュース」の発行・配布

内 容：理事長対談（理事長とトップ研究者の対談）、財団主催の市民公開講座・セミナー等の取材記事、「解体新書」（ライフサイエンス関連の研究者、研究機関の紹介）、「リレートーク」（人と人との交流についてのリレー形式の随筆）、財団各種事業・イベント情報等の提供

発行回数：3回/99号（6月）、100号（10月）、101号（2月）

部 数：1,300部/回

形 態：A4版 20頁（6月）、24頁（10月）、24頁（2月）

主な配布先：全国の大学、研究機関・施設等、ライフサイエンス関連企業、自治体、財団の関係者、財団主催行事の参加者など

② 財団、財団事業の情報発信

ホームページを通じて、財団の事業、運営内容（事業計画、財務等）を公開、広報するとともに、セミナー、フォーラム、新適塾、市民公開講座等の動画を配信した。

*2024年2月ホームページをリニューアルした。

4 研究及び実用化支援事業

(1) 日本医療研究開発機構「橋渡し研究プログラム」(大阪大学受託事業)の活用

当該プログラムにおいて、革新的医療技術創出拠点として一層の支援強化が求められている大阪大学拠点以外のシーズについて、特許出願を目指すシーズAおよび異分野融合型シーズHに係る業務を担当し、実用化に向けた支援を行った(2023年5月～2024年3月)。

○インタビュー

研究者へのインタビューはZoomを用いたオンラインのWeb会議にて実施した。拠点外シーズAについては採択されている16課題と登録のみの2課題について、拠点外シーズHについては採択されている10課題と登録のみの2課題、加えて年度内に2回目実施した採択テーマ1課題について、研究者へのインタビューを延べ31回実施し(シーズA 18回、シーズH 13回:2023年5月～2024年3月)、進捗状況および今後の計画・要望事項等をヒアリングし、助言・提案等必要な対応を行った。

○関連情報の提供

各シーズについて特許状況や競合技術、公募情報等を調査し、研究者に情報を提供した。

(2) 技術講習会 G72

[詳細:別表3]

	開催日	テーマ名	コーディネーター	講師	参加者
G72	5月31日 (水)	シングルセル解析に関する技術講習－オンライン講義(Zoomミーティング)－	国立大学法人大阪大学 免疫学フロンティア研究センター ヒト免疫学(単一細胞ゲノミクス) 特任准教授 奥崎大介	大阪大学免疫学フロンティア研究センター・奥崎大介、同・劉 祐誠、BD Bioscience 安田 剛、10x Genomics 寺倉伸治、KOVAI バイオテクノロジーズ(株) 山下和男	192名
	6月7日 (水)	シングルセル解析に関する技術講習－オンサイト実習(Ifrec)－		Bioscience 安田 剛、10x Genomics 寺倉伸治、KOVAI バイオテクノロジーズ(株) 山下和男	15名

(3) 千里 LF 産学学術交流会

[詳細:別表4]

アカデミアの基礎的な研究テーマの進展を図り、将来の実用化に企業の視点を交えた研究方針・方向性に関する議論の場を提供した。

第1回千里 LF 産学学術交流会

日時:2023年12月22日(金)13時30分～17時30分

場所:千里ライフサイエンスセンタービル6F 千里ルームA・B

参加者:アカデミア6名、企業8社26名

(4) ライフサイエンス産学官連携交流事業(大阪府との連携事業)

医療・健康おおさか産学官連携フォーラム2024

- ・開催日：2024年1月24日(水) 13:00～16:30
- ・場所：千里ライフサイエンスセンタービル サイエンスホール
- ・参加者：ハイブリッド開催(会場49名、オンライン445名)
- ・内容：メディカルサイエンスとヘルスサイエンスの融合、特別講演、彩都における新たな研究開発の動き

5 財団事業

○理事会及び評議員会の開催状況

<理事会>

- | | | |
|-----------------------|-------|-------|
| 1. 2023年度第1回理事会 | 2023年 | 5月24日 |
| 2. 2023年度第2回理事会(書面決議) | 2023年 | 6月21日 |
| 3. 2024年度第3回理事会 | 2024年 | 3月11日 |

<評議員会>

- | | | |
|------------------|-------|-------|
| 1. 2023年度第1回評議員会 | 2023年 | 6月21日 |
|------------------|-------|-------|

- 企画委員会(財団人材育成事業等の企画) 2023年 7月28日
(ハイブリッド開催)

- 研究助成選考委員会 2023年11月28日

2023年度事業報告

附属明細書

公益財団法人千里ライフサイエンス振興財団

別表 1

《セミナー》

開催日	テーマ・演題	コーディネーター・講師
<p>2023年 5月26日(金) セミナーV1</p> <p>Hybrid開催 Online 325名 会場参加 26名</p>	<p style="text-align: center;">相分離がもたらす医療・創薬の新展開</p> <p style="text-align: center;">—演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・生物学的相分離：最近の研究動向と創薬に向けた取り組み ・シャペロンによるタンパク質集合とフォールディングの制御機構 ・細胞内相分離への物質科学からのアプローチ ・光遺伝学を用いた TDP-43 の相転移操作で探る ALS 病態 ・piRISC 機構における相分離依存的非膜オルガネラ形成とその機能 ・相分離によるオートファジー制御 ・ユビキチン創薬の最新動向と LLPS 創薬の可能性 ・おわりに 	<p>京都大学大学院生命科学研究所 准教授 吉村 成弘 奈良県立医科大学医学部 准教授 森 英一朗</p> <p style="text-align: center;">—講師—</p> <p>京都大学大学院生命科学研究所 准教授 吉村 成弘 奈良県立医科大学 医学部 准教授 森 英一朗 徳島大学 先端酵素学研究所 教授 齋尾 智英 広島大学大学院統合生命科学研究所 助教 渡邊 千穂 国立遺伝学研究所 発生遺伝学研究室 特命准教授 浅川 和秀 東京大学大学院理学系研究科 生物科学専攻 教授 塩見 美喜子 北海道大学 遺伝子病制御研究所 教授 野田 展生 東京大学医科学研究所 基礎医化学部門 教授 佐伯 泰 奈良県立医科大学 医学部 准教授 森 英一朗</p>
<p>2023年 7月20日 (木) セミナーV2</p> <p>Hybrid開催 Online 316名 会場参加 41名</p>	<p style="text-align: center;">発達障害の病態解明へ： 基礎と臨床をつなぐ研究最前線</p> <p style="text-align: center;">—演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・マウス・細胞モデルからの発達障害の病態解明 ・発達障害の理解に向けて：分子と行動を繋ぐアプローチ ・マウスにおける養育・社会行動のオキシトシンによる制御 ・脳回路マーカーからみる発達障害：疾患横断性と異種性の理解に向けて ・社会的コミュニケーションの障害の分子病態解明と治療薬開発 ・発達障害の病態解明を目指して～自閉スペクトラム症 (ASD) の臨床からみえてくるもの～ ・おわりに 	<p>国際電気通信基礎技術研究所 (ATR) 脳情報通信総合研究所 所長 川人 光男 理化学研究所 脳神経科学研究センター チームリーダー 石田 綾</p> <p style="text-align: center;">—講師—</p> <p>ATR 脳情報通信総合研究所 所長 川人 光男 神戸大学大学院医学研究科 教授 内匠 透 理化学研究所 脳神経科学研究センター チームリーダー 石田 綾 理化学研究所 生命機能科学研究センター チームリーダー 宮道 和成 東京都立大学人文社会学部人文科学研究科 教授 橋本 龍一郎 浜松医科大学精神医学講座 教授 山末 英典 公益財団法人神経研究所 理事長 加藤 進昌</p> <p>理化学研究所 脳神経科学研究センター チームリーダー 石田 綾</p>
<p>2023年 9月12日(火) セミナーV3</p>	<p>第9回 がんシリーズ 理想的ながん免疫療法の展開 —がん免疫プレシジョン医療—</p>	<p>国立がん研究センター研究所・名古屋大学大学院医学系研究科 分野長・教授 西川 博嘉 京都大学大学院医学研究科 教授 上野 英樹</p>

<p>Hybrid 開催 Online 331名 会場参加 38名</p>	<p style="text-align: center;">—演 題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・免疫チェックポイント分子の作動メカニズム ・腸内細菌叢と肥満関連肝がん～腸内細菌関連物質の肝移行によるがん微小環境形成～ ・免疫ゲノム解析による腫瘍微小環境の免疫抑制機構の解明 ・腫瘍微小環境のB細胞 ・がん免疫病態の多様性とその制御：複合がん免疫療法の開発 ・Conditional Activation of Antibody Therapeutics in the Tumor Microenvironment ・合成生物学的アプローチによるがん免疫療法の進化 ・おわりに 	<p style="text-align: center;">—講 師—</p> <p>国立がん研究センター研究所・名古屋大学大学院医学系研究科 分野長・教授 西川 博嘉 東京大学定量生命科学研究所 教授 岡崎 拓 大阪公立大学大学院医学研究科 教授 大谷 直子 国立がん研究センター研究所・名古屋大学大学院医学系研究科 分野長・教授 西川 博嘉 京都大学大学院医学研究科 教授 上野 英樹 国際医療福祉大学大学院医学研究科 教授 河上 裕 中外製薬株式会社 トランスレーショナルリサーチ本部 本部長 井川 智之 慶應義塾大学医学部 先端医科学研究所 教授 籠谷 勇紀 京都大学大学院医学研究科 教授 上野 英樹</p>
<p>2023年 11月21日(火) セミナーV4</p> <p>Hybrid 開催 参加者 265名 会場 34名</p>	<p style="text-align: center;">組織再構築の制御と破綻 ～健康・未病・疾患～</p> <p style="text-align: center;">—演 題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・細胞死を起点とする組織再構築と代謝性疾患 ・イメージングで捉えた種々の病態誘導マクロファージ ～未病段階での制御に向けて ・がんによる線維性間質の組織再構築とその人為的制御の試み ・正常上皮細胞と変異細胞間に生じる細胞競合 ～がんの未病の理解を目指して ・疾患関連エクソソームから解析する臓器連関制御と破綻 ・多病の基盤となる組織再構築の制御機構 ・内分泌代謝学からみた組織再構築 ・おわりに 	<p>九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学分野 (第三内科) 主幹教授 小川 佳宏 名古屋大学環境医学研究所 教授 菅波 孝祥</p> <p style="text-align: center;">—講 師—</p> <p>九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学分野 (第三内科) 主幹教授 小川 佳宏 名古屋大学環境医学研究所 分子代謝医学分野 教授 菅波 孝祥 大阪大学大学院医学系研究科 免疫細胞生物学教室 教授 石井 優 名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍病理学 教授 榎本 篤 京都大学大学院医学研究科 分子生体統御学講座 分子腫瘍学 教授 藤田 恭之 東京大学先端科学技術研究センター 細胞連関医学分野 教授 星野 歩子 千葉大学大学院医学研究院 教授 眞鍋 一郎 九州大学大学院医学研究院 病態制御内科学分野 (第三内科) 主幹教授 小川 佳宏 名古屋大学環境医学研究所 分子代謝医学分野 教授 菅波 孝祥</p>
<p>2024年 1月19日(金)</p>	<p style="text-align: center;">色々な器官を創る・培う・繋ぐ ～Organ Multiverse～</p>	<p>慶應大学医学部 医化学教室 教授 佐藤 俊朗 大阪大学大学院医学系研究科</p>

<p>セミナーV5</p> <p>Hybrid 開催 Online 324 名 会場参加 54 名</p>	<p style="text-align: center;">— 演 題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> • はじめに • オルガノイドが切り拓く消化器領域研究 • 呼吸器オルガノイドを使った組織幹細胞研究と疾患モデル • 生殖系オルガノイドの構築と利用 • 泌尿器系臓器オルガノイドの作製 • ヒト造血幹細胞のユニークな制御機構 • 眼オルガノイド研究の展開 • おわりに 	<p>教授 西田 幸二</p> <p style="text-align: center;">— 講 師 —</p> <p>慶應大学医学部 医化学教室 教授 佐藤 俊朗</p> <p>慶應大学医学部 医化学教室 教授 佐藤 俊朗</p> <p>理化学研究所 生命機能科学研究センター チームリーダー 森本 充</p> <p>大阪大学大学院医学系研究科 ゲノム生物学講座 (生殖遺伝学) 教授 林 克彦</p> <p>理化学研究所 生命機能科学研究センター チームリーダー 高里 実</p> <p>東京大学医科学研究所 システム疾患モデル研究センター 教授 山崎 聡</p> <p>大阪大学大学院医学系研究科 脳神経感覚器外科学 (眼科学) 教授 西田 幸二</p> <p>大阪大学大学院医学系研究科 脳神経感覚器外科学 (眼科学) 教授 西田 幸二</p>
---	--	--

別表 2

《国際シンポジウム》

<p>2024 年 3 月 1 日 (金) T6</p> <p>Hybrid 開催 Online 193 名 会場参加 116 名</p>	<p style="text-align: center;">Science of Behaving and Sleeping Brains</p> <p style="text-align: center;">— 演 題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> • Deciphering the mysteries of sleep: toward the neuronal substrate for “sleepiness” • The human SLEEP puzzle: genes, molecules, and circuits • Control of ingestion by the caudal brainstem • Sleeping Brain: Unveiling the Art of Artificial Induction • Mitochondrial Origins of the Pressure to Sleep • Making memories in mice 	<p>筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構 機構長、教授 柳沢 正史 副機構長、教授 櫻井 武</p> <p style="text-align: center;">— 講 師 —</p> <p>柳沢 正史 筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 (WPI-IIIS) (日本)</p> <p>Ying-Hui Fu University of California San Francisco, USA Zachary Knight Howard Hughes Medical Institute, University of California San Francisco, USA</p> <p>櫻井 武 筑波大学 国際統合睡眠医科学研究機構 (WPI-IIIS) (日本)</p> <p>Gero Miesenböck University of Oxford, UK</p> <p>Sheena Josselyn The Hospital for Sick Children, University of Toronto, Canada</p>
---	--	--

別表 3

《技術講習会》

開催日	テーマ・演題	コーディネーター・講師・協賛企業
<p>2023年 5月31日(水) 講義 (Zoom) 6月7日(水) 実習</p> <p>講義 192名 (オンライン) 実習 15名 (現地)</p>	<p>シングルセル解析に関する技術講習</p> <p style="text-align: center;">— 演 題 —</p> <p>講義 (オンライン) : 2022年5月31日(水) 13:00~17:00 「シングルセル解析を行う心得」奥崎 大介 「BD Rhapsody を用いたシングルセル解析の概要とメリット」2023版 安田 剛 「シングルセルアプリケーションの紹介とサンプルの準備」2023版 寺倉 伸治 「シングルセル解析データの課題と未来」 劉 祐誠 「論文出版に辿り着くシングルセル解析FAQ」2023版 山下 和男</p> <p>実習 (オンサイト) : 2022年6月7日(水) 13:00~17:00 「誰でもできる! BD Rhapsody を用いたシングルセル解析」2023版 安田 剛 「Chromium Controller を用いたエマルジョン形成の実施」2023版 寺倉 伸治 「解析データを「ざっと」理解するために」 2023版 山下 和男</p>	<p>国立大学法人大阪大学 免疫学フロンティア研究センター ヒト免疫学 (単一細胞ゲノミクス) 特任准教授 奥崎 大介</p> <p style="text-align: center;">— 講 師 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立大学法人大阪大学 免疫学フロンティア研究センター ヒト免疫学 (単一細胞ゲノミクス) 奥崎 大介 ・国立大学法人大阪大学 免疫学フロンティア研究センター ヒト免疫学 (単一細胞ゲノミクス) 劉 祐誠 ・BD Bioscience アプリケーションスペシャリスト 安田 剛 ・10x Genomics サービスサポート部 シニアフィールドアプリケーションサイエンティスト 寺倉 伸治 ・KOTAI バイオテクノロジー株式会社 代表取締役社長 山下 和男

別表 4

《千里 LF 産学学術交流会》

開催日	学：研究紹介 (講演、ポスター)	産：参加者
<p>2023年 12月22日 (金)</p> <p>会場開催</p>	<p>発表者：2017年岸本基金研究助成採択者、6名</p> <p style="text-align: center;">— 演 題 —</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上野 将紀 (新潟大学 脳研究所 システム脳病態学分野 教授) 「中枢神経の損傷における神経回路の再編」 ・笹井 美和 (大阪大学 微生物病研究所感染病態分野 准教授) 「細胞内における自己・非自己認識機構の解明」 ・林 悠 (東京大学大学院理学系研究科 生物科学専攻 教授) 「レム睡眠からアプローチする精神・神経疾患の理解とその克服」 ・宮崎 牧人 (理化学研究所 生命機能科学研究センター 構成的細胞生物学研究チーム チームリーダー) 「人工細胞で切り拓く生命科学研究の現状と将来展望」 ・村山 正宜 (理化学研究所 脳神経科学研究センター 触知覚生理学研究チーム チームリーダー) 「高速広視野 2光子顕微鏡で拓く脳の新世界」 ・安井 典久 (岡山大学学術研究院医歯薬学域 (薬学系) 准教授) 「一本鎖モネリンを非抗体骨格タンパク質とする人工結合タンパク質の作製基盤構築」 	<p>参加企業：国内製薬会社 8社、 26名</p> <p>エーザイ、2名 大塚製薬、5名 小野薬品工業、2名 塩野義製薬、4名 住友ファーマ、4名 武田薬品工業、2名 田辺三菱製薬、4名 中外製薬、3名</p>